

参加費
無料

環境省 地域再エネ事業の持続性向上のための地域中核人材育成事業

令和4年度 地域主導による木質バイオマス熱利用推進に向けた 『地域コーディネーター・地域中核人材育成研修』

◆募集期間:2022年7月22日～8月24日

◆研修時期:2022年9月～12月

(※研修スケジュール、セミナー詳細予定は次ページ参照のこと)

詳しくは当協会ホームページにて掲載いたします。



地域主導の木質バイオマス熱利用実現の普及を目指し
中核的な立場で地域をけん引できる人材を育成します。



応募上の注意

◆参加費:無料

※ただし現地研修の現地までの交通費、宿泊・食費は各自負担をお願いします。

◆応募条件:以下の条件を満たすこと

- ・全ての研修カリキュラムに参加出来ること。
- ・地域で木質バイオマス熱利用に取り組むグループ単位で応募すること。

◆対象(グループ単位での申込)

地域主導でバイオマス熱利用を検討中の 2～4名程度からなるグループでご応募ください。

(対象となる人材例)

- ・自治体職員
- ・森林組合等、森林・林業関係団体の職員
- ・地域の民間企業職員や地域の事業主(設備業者、燃料業者、再エネ関連業者など)
- ・地域 PPS や地域単位での熱供給などを実行、または計画に関わる団体の職員等

◆申請に必要な情報:応募書類に記載してください

- ・グループ情報(所属・氏名・グループでの役割)
- ・木質バイオマス熱利用を導入しようとする地域の特徴や、関連する地域構想・ビジョンなど
- ・現在検討中の進捗状況や課題(フォーマットあり)
- ・現地研修先の希望(いずれか一か所を選択してください。希望が集中する場合は、研修先の調整をお願いすることがあります。)

現地研修先:

長野県松本エリア・長崎県対馬市・岩手県紫波町
※「地域」とは、複数の市町村にまたぐ場合も含みます。
※地域での実際の展開を行う上で具体的な取組のため役割をイメージしたグループ構成でご参加いただくとより効果が期待できます。



■研修の構成

STEP1

オンラインでのプレ研修（9/5～6）

- ・全受講者一斉同日オンライン研修 13:00～16:30(各研修日)
- ・地域主導による熱利用の意義や地域での実現に向けたプロセスやタスクについて学ぶ

STEP2

現地集合研修(長野・長崎・岩手)(1泊2日)

- ・長野県松本エリア(9/26～27)、長崎県対馬市(10/27～28)、岩手県紫波町(11/17～18)
- ・各会場3～4グループで施設の見学会、各地域の特徴に即した講義の実施
- ・地域での実践に向けたノウハウやポイントについてキーマンから直接学ぶ

STEP3

フォローアップ研修（現地研修終了後、約3週間後を予定）

- ・研修参加グループごとにオンラインでコーチング
- ・今後の実現に向けて作成した事業構想について専門家がアドバイス

長野県 松本エリア

自治体との連携による

森林エネルギー事業の展開モデル

長野県の中信地域で「松本平森林エネルギー(株)」による乾燥チップの供給システムを展開しています。行政の先導的なボイラ整備に呼応する形で、地域の林業関係者が森林エネルギー事業を立ち上げています。小規模でも効率的な燃料製造・供給、非FIT材の付加価値化など、地域主導の仕組みづくりを学びます。



岩手県 紫波町

自治体がけん引する

官民連携モデル

紫波町ではPFIの手法を活用したまちづくりの一環で、民間企業によるバイオマスでの地域熱供給事業を行っています。研修では自治体が主導的に民間活力を活用したバイオマス熱利用の事業化をけん引していくためのプロセスや実務、ポイントについて学びます。

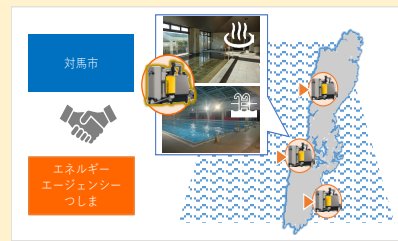


長崎県 対馬市

官民連携 ESCO 型事業による

面的導入推進モデル

対馬市ではESCO型事業の手法を活用して、地元エネルギー会社との連携によりバイオマス熱利用の面的導入を進めています。研修ではESCO型を取り入れながら官民連携で取組を進めていくための地域構想づくりから事業化までの実務、ポイントについて学びます。



■お問合せ・研修申込は

一般社団法人 日本木質バイオマスエネルギー協会

<https://jwba.or.jp>

〒110-0016 東京都台東区台東3-12-5クラシックビル 604 号室

E-mail: co_jinzai@jwba.or.jp TEL:03-5817-8491

